1　国語

学校番号	３２１

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	３	年次	３
使用教科書	「現代文Ｂ」　（教育出版）						
副教材等	ビジュアルカラー国語便覧改訂版（大修館書店）TOP2500（いいずな書店） 新演習現代文アチーブ３						

1 担当者からのメッセージ

・受験だけでなく、社会に出てからも必要である基礎的な国語の力を身に付けましょう。
・アウトプットの重要性を意識し、自分の意見をまとめ発表する、他者の意見を聞きまとめる、文章でまとめるといった活動に積極的に取り組みましょう。
・「読む能力」（様々な文章を読み味わう）、「話す・聞く能力」（コミュニケーション力）、「書く能力」（意思を伝える）の向上を目指しましょう。
・予習として本文を読み、授業の後にはノート等も参考に内容を振り返り、復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。小テスト・定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2 学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析 （ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	随筆	大江健三郎「同情トイウフコト」	○			◎	○	a: 筆者の考えの進め方や、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 d: 筆者の考えの進め方や、文章の筋道を的確にとらえている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:行動の観察 記述の確認 定期テスト
	小説	石川淳「アルプスの少女」	○	○	○	◎	○	a: 登場人物の言動からその性格や心情について考える。 b:作品世界に込められたメッセージを話し合う。 c:自分の鑑賞文をまとめることで作品理解および自分の解釈を深める。 d:人物の行動や思考、心情などを、捉えながら読んでいる。 e:工夫された表現について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 b:行動の観察 c:記述の確認及び観察 d:記述の確認及び定期考査 e:行動の観察 記述の確認 定期テスト
	評論	岡真理「虚構のリアリズム」	○			◎	○	a: 筆者の考えの進め方や、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 d: 筆者の考えの進め方や、文章の筋道を的確にとらえている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:行動の観察 記述の確認 定期テスト
	小説	三島由紀夫「美神」	○	○	○	◎	○	a:作品にふれることで読書の幅を広げる。 b:非現実的な作品世界に込められた意図を話し合う。 c:自分の鑑賞文をまとめることで自分の解釈深める。 d:人物の行動や思考、心情などを、捉えながら読んでいる。 e:工夫された表現について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 b:行動の観察 c:記述の確認及び観察 d:記述の確認及び定期考査 e:行動の観察 記述の確認 定期テスト
2学期	評論	若林幹夫「地図の想像力」	○			◎	○	a: 筆者の考えの進め方や、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 d: 筆者の考えの進め方や、文章の筋道を的確にとらえている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:行動の観察 記述の確認 定期テスト

	小説	森鴎外「舞姫」	○	○	○	◎	○	a:作品にふれることで読書の幅を広げる。 b:心情を中心とした作品世界に込められた意図を話し合う。 c:自分の鑑賞文をまとめることで自分の解釈深める。 d:人物の行動や思考、心情などを、捉えながら読んでいる。 e:工夫された表現について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 b:行動の観察 c:記述の確認及び観察 d:記述の確認及び定期考査 e:行動の観察記述の確認定期テスト
	評論	佐伯啓思「欲望と資本主義」	○			◎	○	a: 筆者の考えの進め方や、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 d: 筆者の考えの進め方や、文章の筋道を的確にとらえている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:行動の観察記述の確認定期テスト
3学期	評論	河合隼雄「民話と幻想」	○			◎	○	a: 筆者の考えの進め方や、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 d: 筆者の考えの進め方や、文章の筋道を的確にとらえている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:行動の観察記述の確認定期テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。